



特集 光化学スモッグ注意報について

川崎市 環境情報

検索

No.596



いずれも川崎市役所庁舎から横浜方面を撮影
(令和3年夏)

空で何かが起きてる……?

左右どちらの写真も、昨夏のある日に川崎市役所庁舎から横浜方面を撮影したものです。両日とも天気は晴れ、同じ時間帯に同じように撮影したのですが、景色の見え方が大きく異なります。なぜでしょうか。——実は右側の写真は、「光化学スモッグ注意報」が発令された日の写真なのです。

光化学スモッグは、光化学オキシダントという物質が大気中で高濃度になったときに、右側の写真のように白いモヤがかかったような状態となる現象で、目がチカチカしたり喉が痛くなったりするなどの健康被害を引き起こすこともあるため、注意が必要です。

次ページでは「光化学スモッグ注意報」について詳しくご紹介します！



光化学スモッグの発生メカニズム

光化学オキシダントは、工場や自動車などから排出される窒素酸化物（NO_x）と揮発性有機化合物（VOC）が紫外線を受けて光化学反応を起こすことで生成します。さらに、光化学オキシダントが増加すると、白くもやがかかったような状態になることがあり、この状態を「光化学スモッグ」と呼んでいます。



光化学スモッグが発生しやすい日

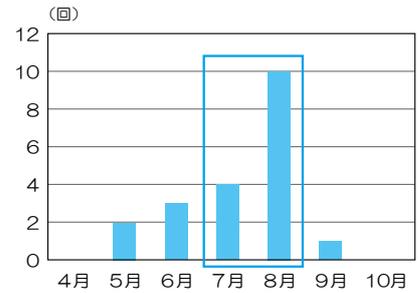
- 気温が高い日
- 日差しが強い日
- 風が弱い日

上記の条件が揃うと、光化学オキシダントが高濃度になり、光化学スモッグが発生しやすくなります。特に7月、8月は条件が揃いやすく、光化学スモッグ注意報の発令される日が多くなっています。

なお、光化学スモッグ注意報は4月から10月の期間において、光化学オキシダントが高濃度になり、その状態が継続すると認められる時に発令されます。

光化学オキシダント（スモッグ）の詳細は市HPをご覧ください▶

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-4-3-0-0-0-0-0-0.html>



▲川崎市の光化学スモッグ注意報発令日数（月別、平成29年～令和3年の累計）

光化学スモッグ注意報が発令されたら

- 屋外での激しい運動はできるだけ控えましょう。
- 目がチカチカする、喉が痛いなどの症状が出ることがあります。症状を感じたら、うがいや洗眼をして屋内で安静にしましょう。
- 必要に応じて、医療機関を受診しましょう。

【健康被害の相談窓口】

各区役所地域みまもり支援センターまたは健康福祉局環境保健課
（土・日曜、祝日は、健康福祉局環境保健課までTEL：200-2435）

注意報が発令されたら
気をつけよう！



光化学スモッグ注意報発令状況の確認方法

- メールニュースかわさき
メールアドレスを登録すると、発令や解除のお知らせメールが届きます。
「t-kawasaki@sg-p.jp」を直接入力するか、右の2次元バーコードを読み取って、案内に従ってご登録ください。



- Twitter
川崎市危機管理室
@kawasaki_bousai



- 神奈川県テレホンサービス
TEL：050-5306-2687
- tvkデータ放送
- かわさきFM（79.1MHz）
など



★光化学スモッグの発生を減らすための取組

本市では、「川崎市大気・水環境計画※」のリーディングプロジェクトの一つとして、VOCの実態把握を行い、光化学オキシダント生成に影響の大きい成分について自主的な排出削減に向けた取組を進めることで、光化学スモッグ発生抑制を目指しています。

※川崎市大気・水環境計画…大気や水などの更なる環境負荷の低減を図るとともに、環境に関する市民の実感の向上をめざして令和4年3月に策定した新たな計画です。

問い合わせ：環境局環境保全課 TEL 200-2516 FAX 200-3921

お知らせ



環境分野における各計画等を策定・改定しました

市では、気候変動や持続可能な開発目標（SDGs）の考え方の広まりなどの社会状況の変化等を踏まえ、環境分野の取組を推進するため、環境関連の各計画等の策定・改定を行いました。各計画の本編については市ホームページからご覧いただけます。

生物多様性かわさき戦略（改定） （環境局企画課）		川崎市大気・水環境計画（策定） （環境局地域環境共創課）	
川崎市地球温暖化対策推進基本計画（改定） 川崎市地球温暖化対策推進実施計画（策定） （環境局脱炭素戦略推進室）		川崎市一般廃棄物処理基本計画 第3期行動計画（策定） （環境局廃棄物政策担当）	
市域の再生可能エネルギー等利用拡大に 向けた廃棄物発電有効活用計画（策定） （環境局脱炭素戦略推進室）		川崎市産業廃棄物処理指導計画（策定） （環境局廃棄物指導課）	

問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-3720 FAX 200-3921

募集



第25期地域環境リーダー育成講座(基礎編)受講生を募集します

かけがえのない地球を大切に守っていくためには、私たちは何をすべきなのか。地域のみならず、自分のまちの姿を変えるために私たちはどんなことができるのか。また、市ではどんな取組が行われているのか。講義や市内で活動している団体の見学などを通して学びながら考え、行動してみませんか？

地域での環境保全活動や、「SDGs」に関心のある皆さんのご参加をお待ちしています！

- 日時** 令和4年6月12日、26日、7月3日、17日（各回とも日曜日、全4回）、10時～16時30分
- 場所** 大山街道ふるさと館（JR武蔵溝ノ口駅/東急溝ノ口駅 徒歩7分）
- 定員** 原則毎回参加できる市内在住又は在勤、在学の18歳以上の方
20名（抽選）

基礎編修了後は実践編へ！
（9～10月、全4回を予定）

- **申込** 区役所等配布のチラシの申込用紙に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・FAXで。
市HPからも申込みできます。
- **申込期間**：令和4年4月1日～5月13日【消印有効】

川崎市 地域環境リーダー育成講座

検索

問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-2387 FAX 200-3921

お知らせ



川崎環境ポータルサイト「調べてみよう！川崎の環境のこと」を開設しました

市では、環境関連の情報を分かりやすく発信するため、川崎環境ポータルサイト「調べてみよう！川崎の環境のこと」を開設しました。

環境に親しみながら学ぶことができるように様々な情報を掲載しているサイトで、子どもから大人まで多くの方々が環境への関心を深めてもらうことを目的としています。

イベント情報をはじめ、施設情報や資料集、環境動画アーカイブなどを掲載しています。子ども向けページもありますので、親子でご覧になれます。この機会に川崎の環境について学んでみませんか？



ポータルサイトイメージ

調べてみよう！ 川崎の環境のこと

URL：<https://portal-env-kawasaki.jp/>



問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-2387 FAX 200-3921

月例データ 浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2022年2月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。2月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)	0.03 ~ 0.04 $\mu\text{Sv/h}$	2月1日~2月22日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: Bq/L)	3.5 Bq/L (検出下限値: 1.0)	2月14日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくはホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

月例データ 大気環境 (2022年2月)

- 二酸化窒素 (NO₂): 一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM): 一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 微小粒子状物質 (PM2.5): 一般局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。自排局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。

		二酸化窒素(NO ₂)			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM2.5)			
		月平均値(ppm)	日平均値が0.04ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppm以下の日数割合(%)	月平均値(mg/m^3)	環境基準を超過した日数(日)	環境基準に適合した日数の割合(%)	月平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した日数(日)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の日数割合(%)
一般環境大気測定局	大師島	0.018	0	0	100	0.009	0	100	7.4	0	100
	川崎幸	0.016	0	0	100	0.010	0	100	10.7	0	100
	中原高津	0.019	0	0	100	0.008	0	100	10.1	0	100
	宮前多摩	0.017	0	0	100	0.008	0	100	6.1	0	100
	麻生	0.018	0	0	100	0.008	0	100	7.0	0	100
	平均	0.018	0	0	100	0.010	0	100	----	----	----
	平均	0.017	0	0	100	0.010	0	100	6.8	0	100
	平均	0.017	0	0	100	0.008	0	100	7.7	0	100
	平均	0.013	0	0	100	0.008	0	100	6.7	0	100
	平均	0.017	—	—	100	0.009	—	100	7.8	—	100
自動車排出ガス測定局	池上	0.033	6	0	100	0.011	0	100	8.6	0	100
	日進町	0.020	0	0	100	0.008	0	100	7.4	0	100
	富士見公園	0.021	0	0	100	0.010	0	100	9.5	0	100
	遠藤町	0.027	1	0	100	0.008	0	100	----	----	----
	中原平和公園	0.019	0	0	100	0.010	0	100	7.4	0	100
	二子	0.030	3	0	100	0.008	0	100	10.0	0	100
	宮前駅前	0.021	0	0	100	0.011	0	100	7.5	0	100
	本村橋	0.019	0	0	100	0.010	0	100	6.9	0	100
	柿生	0.020	0	0	100	0.009	0	100	10.4	0	100
	平均	0.023	—	—	100	0.009	—	100	8.5	—	100

注1: 本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。
 注2: 本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。
 注3: 高津局のPM2.5は、測定機設置場所にて工事を行っているため、当月の測定データはありません。

- 環境基準**
- 1 二酸化窒素: 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
 - 2 浮遊粒子状物質: 1時間値の1日平均値が0.10 mg/m^3 以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m^3 以下
 - 3 微小粒子状物質: 1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-2-1-0-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,156人
 (認定者総数6,056人—認定失効者数4,900人)
 認定失効者数4,900人
 (治癒等2,102人+死亡者数2,798人)
 令和4年2月末現在(健康福祉局)

発行編集
 川崎市環境局総務部企画課
 電話 044 (200) 2386 (直通)
 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

